

氏名：松田尚子(尾道市立高須小学校)  
現地勤務先：メルセデス・ミルトス小学校

☆平成23年10月～12月の出来事

# ¡Nos vemos!

平成24年1月 第7号

明けましておめでとうございます!

昨年は、自然の脅威を実感したり悲しい出来事もあったりしました。平成24年がみなさんにとって素晴らしい1年となることを願っています。

新年を迎え、パラグアイでは日中40℃を超える暑い暑い毎日です。学校はまだ夏休み中で、子どもたちはのんびり過ごしているようです。

今回は、昨年10月から12月に私が行った活動について紹介します。



## 1. 学校訪問

○ 周辺校へ…



パラグアイの学校には、地域ごとに“中心校”(その地域の中心の大きな学校)と“周辺校”(分校のようなもの)があります。私の勤務校は中心校で、時々周辺校も訪問しています。11月には、そのうちの1校で、先生と教材を作ったり授業をしたり、高学年とかけ算練習をしたりしました。



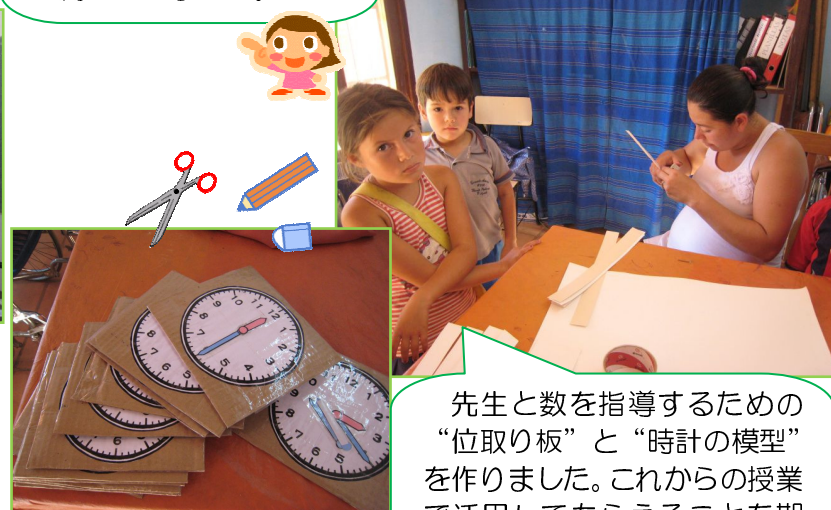
6年生とは、かけ算のマス計算をしました。みんな必死でした。



1年生は、長さの授業。1mのテープを持って1mの物を探しました!喜んでいろいろな物の長さを測っていました。



4年生は、“量(ℓ)”の学習をしていました。先生が、私たちが開いた算数の講習会で作った教具が使われていて、感激しました!



先生と数を指導するための“位取り板”と“時計の模型”を作りました。これからの授業で活用してもらえることを期待しています!



○ 他の隊員の学校へ…

他の隊員の活動を見たり手伝ったりするために、隊員の活動する学校に行くこともあります。11月に、バスで6時間ほどかかる他の隊員の学校へ行ってきました。



半分が私立、半分が公立という学校。大きくてきれいな学校でした！



同期の隊員がマス計算を指導していました。

遠く離れた日本の紹介をしました。季節、食事、風景、そして原爆や地震などみんな興味津々！その後は、けん玉やお手玉などを体験してもらいました。



## 2. 教材・教具講習会

「算数を指導するための教材や教具がない。」というのがパラグアイの教育の大きな課題の一つです。そこで、先生たちと教材・教具を作る講習会を開いています。先生たちは興味をもって教材や教具を作っておられました。



第1回は、数やたし算・ひき算を指導するための“位取り板”を作りました。先生たちは、細かい作業を協力しながら作っておられました。



新聞で紹介されました！先生たちも大喜びでした！



第2回は、たし算・ひき算をするための“20玉そろばん”を作りました。紙を切ったり玉を通したり…周辺校の先生も参加され、黙々と作業をされていました！